J-net
熟年ネット・ひたち

熟年

「シニアライフを
心豊かに生きる」ために
「仲間、生きがい、ひたちを
愛する心」を大切に
「感謝し感謝される楽しい活動」

令和２年度

未曾有の難局を 理性・元気・根気で乗り切ろう

令和２年度総会が、新型コロナの感染拡大により延期された。感染症の先行きは不透明で、楽習会の２ヶ月休止・「シニア地域活動入門講座」の本年度中止のほか、Ｊ－ｎｅｔの活動は見通し困難な状況となっている。

３月の企画委員会において、総会開催は６月11日、総会開催までの予算執行などは、同委員会で承認した暫定実行計画で進めることにした。

今世界は新型コロナウイルスによる感染症の爆発的拡大で、第３次世界大戦並みの危機にひんしていると言われている。日本においても種々手は打っているが、我々市民レベルからみても、その対策は不十分で遅いと言わざるを得ない。

手ごわい新型ウイルスは忍者のごとくと言われ、終息までには年単位の時間が必要と思われる。

Ｊ－ｎｅｔは転換期を迎えており、多くの課題を抱えているが、今はその論議・対策よりも、会員・会友全員がこのコロナ禍を元気で乗り切ることが最優先課題であろう。

世の中は、コロナ対策と経済活動のトレードオフで侃々諤々議論を尽くしていますが、我々の活動は、健康第一で、新型コロナウイルスに感染しないことです。楽しい有意義な活動は、健康あって成り立ちます。理性をもって行動し、家に閉じこもっても体力を維持できる運動を元気に行い、１年以上続くと思われるコロナ対応の生活を根気よく続けましょう。　そして、晴れて制約のない以前のＪ－ｎｅｔ活動が続けられる日を迎えましょう。

みんな元気で

令和２年５月１日
Ｊ－ｎｅｔ代表
山野　邦雄

各グループ活動計画

シニア講座グループ

県の緊急事態宣言を受け、日立市社会福祉協議会と協議し、今年度の「シニア地域活動入門講座」は中止することにした。

昨年度の受講生アンケート・反省会を踏まえ、受講生募集チラシの作成並びに講座カリキュラムの検討など、しっかりと準備を進めてきたが、安心・安全を優先した。スタッフの思いは次年度の開講に向け、更なる講座内容のブラシアップを図り、努力する。

楽習会グループ

２月27日開催の楽習会「皆で考えようＪｎｅｔ」での決定に従い、希望に沿って担当者を割り振り、活動計画を作成した。

今年はコロナウイルス感染が当地にも迫り、楽習会開催を６月からとした。楽習会の進め方やテーマに関して、昨年から議論を進めた内容を生かすよう努めた。詳細は当会報３ページに記載した。

広報グループ

当会報の発行で第85号となるが、会員同士を繋げるコミュニケーション手段として一層の充実を図ります。引き続き、原稿依頼時はご協力をお願いします。

ホームページでは毎月８００から９００回のアクセスがあり、楽習会、自主グループ活動情報などタイムリーに情報発信していきます。引き続き情報提供をお願いします。

事務局

事務局業務の確実な実行、企画委員会の活性化、会員に対する情報のタイムリーな伝達、会の円滑活動へのバックアップなど、方法を考えながら実行していきたい。

皆さまの建設的なご提案をお待ちしています。

【特集】熟年パワー「仲間づくり」

「さくらを楽しむ会」活動より

日立のさくらを「知りたい」「観て回りたい」との声により会を立ち上げた。さくらの指導は元Ｊ－ｎｅｔ会員の山川さんにお願いし、２月29日に発会と座学でさくらの知識を勉強、３月５日より早速観桜に出向いた。会への参加者は27人。観桜を４回実施したが新型コロナウイルス感染の危険性から、今年の観桜は終了とした。４回の観桜で14ヶ所、15品種のさくらを楽しんだ。（富田　滋男）

桐木田広場「紅枝垂れ」の前で

楽 習 会 & 自主グループ活動

新春を和で寿ぐ　(1/9)

今回の新春交流会は、昨年までの内容を模様替えし、女性グループ「アスピリンローズ」の演奏と歌、近藤金道さんによるマジックショウを開催した。

最初に賀詞交換で、山野代表から新年の挨拶があった。

演奏と歌に移り、最初に「一月一日」をみんなで歌いアスピリンローズが得意とするジャズ曲、ビートルズメロディー、映画曲など、また参加者も懐かしむ曲も選曲いただき、ライブ演奏を十分に堪能できた。

近藤金道さんのマジックショウでは、工場勤めをしながらマジック学校に通い、この道 20 年のテーブルマジックを中心にお喋りを交えた技をご披露いただいた。また、アシスタントで白土節子さんも出演、最前列で食い入るように見つめる参加者の目をあざむくかのように、笑いと驚きを誘いながら、不思議さと楽しさを体感できた。

最後にアスピリンローズの皆さんの再登場で、みんなで歌おうのコーナーでは「ペチカ」「美しい十代」など４曲を合唱し、またアンコールにも応えていただき、息の合ったボーカル、ピアノ、ベース、ドラムの演奏と歌で、新春に相応しい「新春を和で寿ぐ」が開催できた。

参加者　52 人（うち会員外 15 人）　（竹本 講治）

井戸端会議(4)　(1/23)

今回の井戸端会議は、次年度の楽習会テーマ選びを目的として開催した。

冒頭に、楽習会リーダーの山野代表からテーマについての説明のあと、４グループに分かれて本年度実施済の 19 回の楽習会を５段階評価し、本題の次年度楽習会のテーマ選びに入った。楽習会の評価については、一覧表にまとめて楽習会グループに提出し、次年度の参考資料にしてもらうこととした。

次年度楽習会のテーマ選びでは、各グループともに活発な意見交換が行われ、合計 70 件の提案がなされた。提案された 70 件のテーマをジャンル別に分類し、一覧表にして楽習会グループに提出し、12 月５日の楽習会“J-net の今後を考える会”で提案された事項を加味した上で、２月 27 日の楽習会“みんなで考えよう J-net”で次年度の楽習会テーマを決定することとした。

参加者　30 人　（帰山 芳夫）

人工知能(AI)の話　(2/13)

茨城大学大学院理工学研究科・理学博士・鈴木智也教授をお迎えし、人工知能に関するご講演をいただいた。

人工知能の歴史、動作、原理、長所や短所、日常生活に与える影響、軍事利用の可能性、*シンギュラリティ問題など多岐にわたる項目について、全て論理的、実践的に解説された。

人工知能が人間を超えるかなどの報道は多いが、知能については人間以下が現状であり（人間同等が目標）、過度な期待は大きな落胆となって人工知能研究を消滅させる恐れがある。現在の人工知能ブームは第３次であり、過去に２回消滅を経験している。人工知能はあくまでも道具であり、道具としての長所（高速・大量・自動・不休・安定）を冷静に認識すれば、労働者不足などの社会問題を解決するツールになり得ることを主張された。

講演の進め方は、当初のプログラムとは異なる形になったが、内容的には問題無く、解説の解り易さ、歯切れの良さ、投影画面のきれいさもあり、また受講者も多く、まれに見る盛況な講演会だった。

参加者　70 人（うち会員外 30 人）　（桑名 勇児）

参考；*「シンギュラリティ」（Singularity）とは、アメリカの発明家で人工知能研究の世界的権威であるレイ・カーツワイルらが示した未来予測の概念で、一つの仮説として想定され得る、“人工知能（AI）が人間の能力を超える時点”を意味する言葉です。 日本語では「技術的特異点」と訳されます。

ウオーク会　日立市役所から市街地巡り

12 月にしては暖かい陽気の中、市役所を出発。杏並木を通り抜け、角美術館で絵画観賞。平和通りに差し掛かると人通りのない街並みに昔の面影がなく、会員の多くが現役時代に退勤後仲間と連れだって通った繁栄していたころのスナック、居酒屋の看板が軒並みに外された通りを、懐かしさと感傷に浸り、語り合いながらゆっくり歩いた。

前方に近代建築で新しく生まれ変わった日立駅に向かって歩くころには、早足になっていた。駅構内から眼下に広がる太平洋の雄大な景観に、日立の未来が広がっていけるような気がした。次に向かった銀座通りは数店舗を残し、姿はすっかり高層マンションが立ち並ぶ住宅街に変貌していた。前ノ内公園で休憩。

ランチを予約していた「ホテル網元」で約２時間、会話を弾ませながら食事会を楽しんだ。　（山中 かよ子）

令和2年度　楽習会年間計画

楽習会は過去の経験を経て、J-net 理念に沿いかつ効率的で担当の負担が公平となるよう、現状の形へと変化してきた。

同時に形骸化もした。この改善を図るべく令和元年度第 17 回楽習会テーマの一つに取り上げ、楽習会の実施要領の見直しを行った。見直し内容は下記のとおりであり、まだ改革途上であるが、令和２年度はなるべくそれに従うよう下表のような活動計画とした。

次年度以降も更に改善を続け、 J-net の理念に沿った楽しく有意義な楽習会となるよう願っている。

1．女性会員がさらに前面に出て活動できるグループにする。テーマ取りまとめ者の女性比率を上げる。
2．楽習会のテーマは、現在の提案方式にこだわらず、J-net 理念に沿うテーマを数件設け、継続テーマとする。
3．楽習会テーマは、提案者の意向が分かるように、テーマ担当との意思疎通を図る形とする。
4．楽習会グループは、推進方法を年度初めにテーマ取りまとめ者に説明し、円滑な推進を図る。
5．一泊懇親は参加者が少なくなり、開催内容を再検討すべきである。
6．テーマ取りまとめ者のなり手が少なくなっている。多くの人に経験してもらい、担当できる人を増やす。
7．テーマ取りまとめ者は、独断とならぬよう、担当者間の意思疎通を図って進める。
8．テーマ担当者は楽習会終了時、経験を引き継ぐ手当をすること。反省会用お茶代の予算化も考える。

回	月/日	楽　習　テ　ー　マ	講　師	内　容　＆　備　考
0	後報	一泊懇親	—	仲間を再発見（羽目を少し外して）
1	6/11	第 15 回総会	—	現状の緊急事態下、活動をどうするか話合う
2	6/25	井戸端会議（1）	—	楽習会を楽しくするために
3	7/09	終活に関する話	後　報	人生 100 年時代を無事終えるために
4	7/23	人生 100 年時代を楽しむ人の話	石田淳治氏	シニアライフを生き生き活動する人の生き様
5	8/06	歌声喫茶	—	みんなで歌えば、若さも楽しさも倍増
6	8/27	工都日立のルーツを学ぶ	大畑美智子氏	久原房之助の理想と小坂衆の苦闘を学ぶ
7	9/10	日立市の人口減少対策	市職員	日立市政を継続的に学び、理解しよう
8	9/24	屋外で楽しく会食、語らいしよう	—	市内施設を幅広く活用し、楽しもう
9	10/08	井戸端会議（2）	—	気楽に語り合い、親睦を深めよう
10	10/22	古典を学ぶ	後　報	日本の古典文学に接し、学ぶ
11	11/12	県政出前講座	茨城県職員	県政を学び、街づくりに活用しよう
12	11/26	つくば宇宙センター等施設見学	—	先端技術の街を訪ねて学ぶ
13	12/10	天気予報と防災について	富岡啓行氏	日立天気相談よもやま話
14	12/17	年末交流会	—	令和２年を振り、楽しく親睦を図ろう
15	1/14	賀詞を交換し、新年を寿ぐ	後　報	新しい年をみんなで祝い楽しむ
16	1/28	井戸端会議（3）	—	みんなで考えよう、次年度活動テーマ
17	2/11	観音寺を訪ね、講話を聴く	観音寺住職	観音寺の壁画を鑑賞し、住職の講話聞く
18	2/25	みんなで考えよう　J-net	—	楽しく有意義な楽習会テーマを決めよう
19	3/11	日立を知り、我が町に誇りを持とう	後　報	郷土の歴史、誇れる遺産を学ぶ
20	3/25	高齢者ドライバーの心得	後　報	高齢運転者の陥るミスを学び事故ゼロを目指す

注記　①　“回”欄着色のテーマは、継続テーマとし次年度も実施。自主グループ活動に繋がる方策を考える。
②　“月/日”欄着色は休日開催を示す。
③　“内容＆備考”欄着色は、公開講座候補テーマ。講座の公開は社会貢献の一つと考える。
④　第０回テーマの「一泊懇親」は、計画内容に賛同者が予定数に達した場合のみ開催する。
開催日は、開催月を問わず第 1, 5 木曜日の都合の良い日を設定するものとする。

インフォメーション

「シニア地域活度入門講座」

今年度の「シニア地域活動入門講座」は、新型コロナウィルス感染拡大により中止することになりました。

楽　習　会　（5～8月）

月/日	楽習テーマ	内　　容	場所
5月	中　止		
6/11	第 19 回総会	令和２年度を活力を持って進めよう	女性センター
6/25	井戸端会議（１）	楽習会を楽しく実行するために	
7/9	終活に関する話	人生を無事終える為にすべきこと	
7/23	人生 100 年の時代	熟年を生き生き活動する人の話	
8/6	歌声喫茶	みんなで歌ってストレス発散！	後報

新型コロナウイルス感染状況により、予定が変更になる場合があります。

企画委員会だより（1～4月）

主な審議事項

1月 1）年末交流会、シニア講座会計報告　了解
　　2）ピニオンのプロジェクター購入費の予算化
　　3）来年度楽習会への提案
2月 1）「さくらを楽しむ会」新グループとして立ち上げ
　　2）楽習会テーマまとめに関する提案
3月 1）総会資料の事前検討審議
　　2）「おもちゃの病院」独立に関する件
4月 1）総会資料の事前検討審議：楽習会、決算・予算

リレー随筆

わくわくを　ありがとう

細江　富美江

10 年程前、外国人に日本語を教えるボランティアに参加しました。学習者は、小、中、高校の英語の先生（A、L、T）や企業の研修生などで、みな日本に興味があり、期待を胸に来日した 20 代の若者です。

彼らははじめ、50 音がやっと書けるというレベルで教室を訪れます。しかし、熱心な彼らは一年後には簡単な日常会話ができるようになり、更に二、三年後には日本語能力試験に合格する方もたくさんいます。

私も、そんな彼らの熱い思いに応えようと日立市国際交流会の勉強会に参加したり、日本語教育アドバイザーの先生に教えていただいたり、毎日が充実したものになりました。

また、クリスマスパーティーや、リンゴ狩りなどのイベントを行い、会話を楽しむこともあります。彼らは「カワイイ」ものが大好きで、日本のアニメにとても詳しく、嬉しそうに教えてくれます。そして日本人の私達よりずっと富士山に思い入れがあり登山できる夏を心待ちにしています。生け花に興味がある女性を自宅に招いた際は、生け花より「ランマ」「トコノマ」と声に出しながら、好奇心いっぱいに眺めていました。

自分が踏み出したボランティアで世界観が大きく広がり、彼らに「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。

おもちゃの病院 独立

山本 三男

おもちゃの病院は故小林勇作氏が中心となり、平成 15 年３月に、J-net の自主グループの一つとして立ち上げられた。子どもに物づくりに興味を持ってもらい、物の大切さを教えることを主目的にしたものである。

現在、会員は 17 人、定期診療活動は交流センターなどの公共施設６ケ所で分担して行っている。また、イベント診療では、百年塾フェスタ、日立市エコフェスタなどに積極的に参加し、累計修理件数は 2,700 件にものぼっている。

地道に活動してきた結果、朝日新聞、読売新聞などのタウン誌に紹介された。また、市社協、県社協表彰さらには県知事賞を受賞し、大いに励みになっている。

一方、おもちゃの病院の J-net 会員の高齢化に伴い、代表者を J-net 会員から出すことができず、一般会員の中からの選出になった。これを機会に、J-net の自主グループから独立することにした。

17 年間の J-net のご指導に感謝するとともに、これからは、1 ボランティアグループとして従来通り活動していきたいと思っている。

【編集後記】本来なら本号は、総会が終わり新年度スタート号となるはずである。しかし、新型コロナウイルスによる集会自粛の影響で、総会が開けず、変則的な年度始めになった。今のところコロナ禍による状況がいつ回復するか見通しは立っていない。従って、シニア講座は中止、楽習会の予定もかなり不確定なものと考えなければならない。とにかく、早いところ回復してもらいたい。人との接触をさけなければならないと、仲間づくりも語らいもできず、J-net 活動もままならない。早くの鎮静化を祈るのみである。　（編集子）

発　　行：熟年ネット・ひたち
　　代表　山野 邦雄
編　　集：広 報 グ ル ー プ
住　　所：〒316 - 0004
　　日立市東多賀町 5 - 1 - 6
E-mail　：jnet-hitachi@ jneth.com
URL　　：http://jneth.com